

令和3年度事業報告

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

概要

公益社団法人岐阜南法人会は、定款の目的に則り、税知識の普及、納税意識の高揚並びに適正・公正な申告納税制度の維持発展と税務行政の円滑な執行に寄与する事業を推進してきた。

併せて、地域企業と地域社会の健全な発展のため、社会貢献事業を積極的に展開するとともに、会員企業の発展に資する事業を推進してきた。

1 組織の現状

令和4年3月31日現在、会員数 3,277社(前年同期比 60社減少)、加入率38.48%(同1.47%減少)と前年度から30%代に陥っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は依然として大きく、会員増強活動が十分にできない状況が続いている。

2 事業の実施状況

当法人会は、公益社団法人として「税の啓蒙・啓発」「地域企業の発展」「地域社会への貢献」に係る事業実施の努力をコロナ禍の中においても行ってきた。コロナ感染状況により止む無く実施を見送った事業も多くあったが、安全並びに感染予防対策を十分に行い事業活動を遂行してきた。

県下法人会運営研究会の研究発表1年目に当たり、プロジェクトチームを組織し発表テーマの「コロナ禍における会員増強活動について」チーム一丸となって取り組み、発表は成功裡に終えることができた。

租税教室は、小学校5校で実施することができた。青年部会においては「キャリア教育」授業も3年目となり、更なる進化を目指して取り組んだ。租税教室で募集した「税に関する絵はがきコンクール」は424作品の応募を受け、当法人会の代表作品は岐阜県下の代表として、東海法人会連合会長表彰を受ける名誉を得た。

なお、女性部会長表彰状には、バナナの樹皮を再生した紙で表彰状を作成し、受賞した児童をはじめ学校関係者にもSDGsを説くなど、租税教室の更なる発展を目指して活動を行った。

税の啓蒙と税知識の普及を目的とした研修会は、管内税務署の署長、副署長を講師に招き講演会を開催するとともに、税制改正に関する研修会や管内企業から受講者を募集した簿記研修会では多くの参加者を得て実施した。

税制委員会では、税制に関する要望を取りまとめ「令和4年度税制改正に関する提言書」を地元選出の国会議員2名、各務原市・羽島市の各市長並びに市議会議長に対し、提言活動を行った。

以上の事業活動の様子は、会報誌の「Avantiみなみ」(年3回発行)に掲載し会員に周知した。